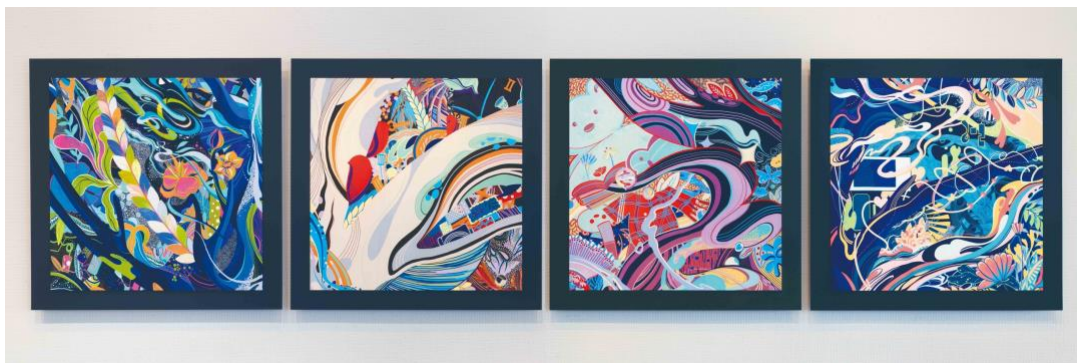


方 霖穎

FANG Linying



Why do you always overthink?

スクリーン捺染、絹

Why do you always overthink?

現実世界とは客観的な実体がなく、一人一人の心の中で独自に構築されるものです。私たちはこの「現実」と呼ばれる次元を形成するために、それぞれの現実に対する認識と理解、そして空想の世界を持っています。空想世界は単なる勝手な想像ではなく、夢を構築しながら現実を回避せず探索することだと考えています。

感受性の高い人(HSP)は、空想世界に傾倒しやすい傾向があります。生まれつきの敏感な気質と高い知覚能力を持ち、同じ水面を見ている、彼らは深海に沈むくらい奥まで見えています。空想世界は彼らにとってただ現実から逃れるだけでなく、複雑な感情を表現して理解するための場でもあります。

私は、HSP がどのように現実世界を知覚しているのかに興味を抱き、その世界を自身の経験と重ね合わせ、自分の視点から描き出すことを目指しました。

脳神経の形を樹木に例えると、HSP の樹木は他人の倍ほどの枝が伸びています。作品全てに現れる大きな樹木は、脳神経が発達している HSP の知覚を表現しています。

鮮やかな世界

繊細な脳神経によって産まれたものが、感情であり、矛盾であり、思いを言葉で表に出し尽くせないほど誰よりも鮮やかに見える世界である。

繋がり

HSP は心の境界線が薄くてもろいため、容易に相手からの影響を受ける。親や身近な人との切っても切り離せない関係性がストレスの要因となる。自己と社会との繋がりや捉え方は成長環境に大きく左右されている。

癒しと欲望

一方、HSP は微小なことから幸せを求めやすい傾向がある。過剰に刺激を受けると、思わず楽しさを感じる避難所に隠れてしまい、癒されたいものを渴望しながらも欲望の淵に落ちる恐怖心を抱えている。

情報過剰現代社会の忙しいリズムとインターネットの発達から、ネガティブとポジティブに拘らず、他人の感情を自分に反射させ、自分のことのように感じてしまう。SNS で受ける他者の反応に振り回される。